

● 活動目的

岡山医療センターにおける患者の病態変化に対して早期に認識・介入し、重篤有害事象を軽減することを目的とする。

● 活動状況

1. RRS における活動

- 1) 年 5 回の RRS チームカンファレンスの実施
- 2) 年 2 回の院内向け RRS 研修会の実施
- 3) 職員への RRS の周知: RRS コール・RRS 起動基準の掲示、RRS 用スクラブの作成
- 4) 室規定の修正
- 5) FCCS(集中治療医療安全協議会)セミナー受講促進

2. RRS 起動状況(2023.4.1~2024.3.31)

RRS 起動は 1 年間で全 17 件。コール時 CPA だった 1 例(DNAR 症例)を除く 16 例で軽快が得られた。最終的な現病死が 4 例。

RRS が多く起動されている他施設に比較すると、起動件数は少ないと考えられる。

3. CAC 起動状況調査(2023.4.1~2024.3.31)

2023 年度 CAC 発令: 32 件(うち 23 件が心停止)。

時間外の心停止症例が 21/23 例。心停止症例のうち ROSC: 14 件、回復: 4 件

うち、CAC 前に状態変化があった事例が 22/32 例(68.7%)、状態変化があった事例の中でモニターが装着されていなかった事例が 4/22 例(18.1%)。

4. RRS 起動推進のための方策検討

年 2 回の RRS 研修会の企画実施による周知活動の検討

モニターの適切な装着についての研修

FCCS セミナーなど RRS 規定セミナー受講の促し

病棟コアナースの設置

CAC 事例についての病棟との振り返り

M & M カンファレンスの実施

時間外の CAC 件数を減らす方法についての検討